

市ニ

民活動

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION NEWS

ニュース



2001年

5月号

平成13年4月25日発行

ボランティア国際年



2001

2001年は ボランティア国際年です

協賛事業を募集しています。くわしくは次ページをご覧ください。



ボランティア国際年の
マスコットキャラクターです。

センター運営委員会からのお知らせ

市民活動に関するイベントスケジュール

4月～6月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

ネットワークのよびかけ

今月のよびかけは4件です。興味のある分野があれば、気軽に連絡してみてください。

フリーマーケット情報

【NPO 担当から】

今月分の申請は 2 団体、 今までに成立したNPO法人は 78 団体です。

今月成立した特定非営利活動法人（NPO法人）団体は5つです。NPO室では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

助成金ニュース

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。
今月号は6件の情報を掲載しています。

NPOリレーインタビュー

よしだ ぜんざぶろう

吉田善三郎さん

本業である林業のかたわら、自然環境の保護にも力を入れている吉田さん。「語らいの里^{はなしの} 嘶野」という施設を運営しつつ、自分が幼い頃に親しんだ自然を取り戻そうとしています。なかでも力を入れているのは「ホタル」。一時は絶滅寸前だったホタルも今では、6月頃に美しい乱舞を見せてくれるまでに数を戻してきたそうです。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

◆発行◆

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981・5982・

5983

Fax.059-222-5971

E-mail open@mienpo.net

県NPO室ホームページ

<http://www.mienpo.net/>

センター運営委員会からのお知らせ

津駅東にこのほど完成したアスト津ビル3階で、みえ市民活動ボランティアセンターが新たなスタートをきりました。

センター運営委員会では、以下の日程で委員会を開催します。参加は自由ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。

●とき／5月15日(火) PM7:00～PM9:00

●ところ／みえ市民活動ボランティアセンター 交流スペース

●内容／(1)運営委員会のあり方について

(2)センター利用のルールその他



ボランティア国際年

2001年ボランティア国際年 みえ協賛事業募集!

2001年にボランティアに関する事業を計画されている団体のみなさん、ボランティア国際年みえ協賛事業として、みえ推進協議会に登録をお願いできませんか。

2001年1月から12月の間に組み込まれるボランティア事業で「ボランティア国際年」にふさわしいものであればOKです。みえ推進協議会もその事業の情報発信のお手伝いをさせていただきます。事業内容のわかる資料を添えて事務局までご提出ください。

●問い合わせ先／2001年ボランティア国際年みえ推進協議会 514-8552 津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館4階

Tel.059-227-5145 Fax.059-227-6618

E-mail mvc@miewel.or.jp

ホームページ <http://www.mienpo.net/iyv2001/>

2001年ボランティア国際年写真展 実行委員募集

三河地域(四日市市・三重郡)のボランティアの写真展を開催したいと考えています。秋に開催される各地のイベントで、ボランティアを写真や文章で紹介し、「ボランティアをしている人」と「して欲しい人」を結びつけたり、ネットワークを広げていきたいと思っています。一緒に写真展の企画・運営をしませんか?

【第1回実行委員会】

●とき／5月26日(土) PM1:30～

●ところ／四日市市市民活動センター

(四日市市蔵町4-17 Tel.0593-50-0201)

●問い合わせ先／山脇・三谷 Tel.0593-52-0763

Fax.0593-52-0765

●主催／2001年ボランティア国際年三河会議(呼びかけ人:岡野)

イベントスケジュール

あっぷる・キッズ パソコン講座開催

●とき／小学1～3年生対象 4月28日(土)、5月12日(土)

小学4～6年生対象 5月27日(日)、6月10日(日)

時間はいずれもPM2:30～PM3:45、2日間で1ユニット

●ところ／アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター

●参加費／500円(1ユニット) ●募集人数／各回6人

●内容／小学生の皆さんを対象にした講座です。アップルパソコンに楽しく触れながら、マウスやキーボードに慣れましょう。なお、ご家庭で不要になったパソコンがありましたらお譲りください。

●申込方法／電話、Faxで下記まで。

●申込・問い合わせ先／514-0005 津市鳥居町88-41

NPO全国パーキンソン友の会三重県支部設立準備会(池田清和)
Tel.&Fax.059-226-6274

「伊勢ヤートコセ」講習会

●とき／4月28日(土) PM7:00～PM9:00

4月29日(日) PM1:00～PM3:00・PM7:00～PM9:00

●ところ／伊勢シティプラザ1F ●参加費／1講習日につき600円

●内容／伊勢ヤートコセとは伊勢市の伝統的な踊り「伊勢音頭」を、伊藤多喜雄さんの振付・構成によりロック調に変身させた新バージョンのこと。今後、子どもや若者に伝え広げられ、踊り継がれる音頭として三重県の財産となるよう大切に育みたいと思っています。

●募集人数／30人(先着順、要申込)

●申込・問い合わせ先／伊勢こども劇場事務局

Tel.0596-28-5692 Fax.0596-28-5679

E-mail kodomo21@basil.ocn.ne.jp

第7回 テリーフォックス・ラン

●内容／がんにも冒されながらも、自ら走ってがん研究資金を募ったテリー・フォックスの遺志を受け継いだイベントです。当日は1人1000円以上、がん研究のための寄付金を持参して参加してください。また、9～12日の日程で名古屋と新宮からランナーが松阪を目指して走っています。あなたの町をランナーが通るかも…。

【シンポジウム】

「生活習慣とがん予防」

●とき／5月8日(火) PM3:00～PM5:00

●ところ／愛知県がんセンター・国際交流センターメインホール

●内容／講演…「健康日本21あいち」田邊譲さん(金城大学教授)、「食生活とがん予防」徳留信寛さん(名古屋市立大学医学部公衆衛生学教授)、他

「がんとともに生きる」

●とき／5月13日(日) AM10:00～正午

●ところ／松阪大学721番教室

●内容／基調講演…「運動とがん予防」田島和雄さん

パネルディスカッション…パネリスト:田島和雄さん、広野光子さん(金つなぎの会代表)、橋本美恵子さん(元藤田保健衛生大学七栗サナトリウム看護婦長)

【ファイナルイベント】

●とき／5月13日(日)

AM11:00～PM3:30(雨天決行)

●ところ／松阪市中部台公園

●内容／ラン・ウォークの受付はAM11:00～PM1:00。園内のトリムコース(2Km)を希望の回数だけ回ってもらいます。ステージでは太鼓などの演奏が披露され、楽しい屋台も出店します。

●申込・問い合わせ先／テリーフォックス・ラン実行委員会

Tel.0598-51-3741 Fax.0598-51-0505

ホームページ <http://www.geocities.co.jp/Athlete-Olympia/1189/>

環境創造活動助成金対象活動交流会&発表会

「レジ袋ゼロ運動」意見交換会

●とき・ところ／5月12日(土)

津市市民活動センター(津)・生涯学習センター「いせトピア」(伊勢志摩)・ゆめばりすセンター(伊賀)・三重県尾鷲総合庁舎(東紀州) 5月13日(日)

三重県四日市総合庁舎(北勢)・松阪市スポーツ研修センター(松阪) 時間はいずれもPM1:00～PM5:00

●内容／三重環境県民会議が運営する「環境創造活動助成金」の

対象となった活動の発表会&交流会です。県内でどんな環境活動が行われているのか知るチャンスです。興味がある、活動を始めたい、仲間づくりがしたい。そんな方はぜひ参加してください。またPM3:30からは「レジ袋ゼロ運動」の現状報告と意見交換が行われます。ライフスタイルを見直すきっかけとして、取り組みやすい「レジ袋の削減」を進めるための意見やアイデアを聞かせてください。

●問い合わせ先／三重環境県民会議事務局
Tel.059-245-7512 Fax.059-245-7518

—— 私たちちょっといい関係 きらめき流男の裏技クッキング



●とき／5月19日(土)AM10:00～PM2:00
●ところ／四日市市女性センター調理室 ●参加費／1000円
●内容／男性の家事参画と、CO2減量作戦の一環として生ゴミを出さない裏技クッキングを開催します。料理教室メンバー9人と特別参加のNPOちょっと自然会長、芳山末一さんが日頃の腕前を披露。なお、収益金はドメスティックバイオレンス(DV…夫やパートナーから暴力を受けること)シェルター設置基金に積み立てます。
●応募締切／5月10日(木)
●申込・問い合わせ先／NPOきらめき・ねっと事務局(林 泰子)
Tel.090-7439-1504 Fax.0593-33-0770
E-mail katakuri@cty-net.ne.jp

よっかいち子育てエンジョイブック発刊記念講演会 『なにかを始めたい人の‘はじめのいっぽ’』

●とき／5月19日(土)PM1:30～PM3:30
前半：藤本さん講演、後半：交流会(30分程度)
●ところ／本町プラザ2F 第一会議室(四日市市本町)
●参加費／500円(定員70人先着順)
●内容／「よっかいち子育てエンジョイブック」とは、子育て中の方々へ本当に必要とされている情報を提供するため、四日市市児童福祉課と市民活動団体が協働して、昨年9月に企画委員会を発足し、制作にあたってきた本です。その発刊を記念して講演会を行います。講師は藤本裕子さん(横浜市在住、トランタン新聞社代表、ブラボー子育て21代表、『お母さん業界新聞』発行人)です。なお、託児も一人500円で受付けています。
●申込・問い合わせ先／久志本 Tel.&Fax.0593-32-3303
井上 Tel.0593-63-4990 Fax.0593-63-4989



【 家庭危機管理・ひまわりの仲間たち主催企画 】 「家族と向き合ってますか!～ワークショップ～」

●とき／5月19日(土)PM1:30～PM3:30
●内容／家族と向き合い、問題点を発見し、解決のための行動を起こすことが大切です。そこで友に語り合い、学ぶ場としてワークショップ(全10回)を企画しました。

「お母さんのための家庭危機管理講座」 ～こんな家庭を(安心・安眠・安定)めざして～

●とき／5月26日(土)PM1:30～PM3:30
●内容／、お母さんが中心となり、家庭危機管理の予防と改善を試みませんか?0～10才のお子さんとお母さんに参加していただく講座です。危機管理専門家、家庭危機管理士、カウンセラーの先生と学習しましょう。(全10回)
両企画とも…

●ところ／四日市市なや学習センター(Tel.0593-57-1370)

●参加費／無料

●申込・問い合わせ先／510-0074 四日市市鶴の森1-2-15-703 家庭危機管理・ひまわりの仲間たち
Tel.0593-50-1660 Fax.0593-50-1661
ホームページ <http://www.h2.dion.ne.jp/~nakama/>
※女性だけのワークショップ(毎週火・木曜PM1:00～PM3:00)、子どもたちの無料相談もご利用ください。

河崎商人市&蔵まちフリーマーケット 参加者も募集!

●とき／5月20日(日)AM10:00～PM3:00(雨天決行)
●ところ／伊勢市河崎2丁目
●参加費／フリーマーケットなどの参加・出店費は1区画1000円
●内容／河崎商人市&蔵まちフリーマーケットは河崎のまちづくりは人づくりからという考えから企画された、人との交流・ふれあいを中心にしたイベントです。住む人、訪れる人がそれぞれに優しさを交換できる心地よいまち、河崎を実感してください。
●応募締切／出店希望者…5月10日(木)(先着順)
●申込・問い合わせ先／伊勢市河崎2丁目25-32 NPO法人伊勢河崎まちづくり衆事務局 Tel.&Fax.0596-22-4810
E-mail machisyu@e-net.or.jp

第1回経ヶ峰マウンテンマラソン

●とき／5月20日(日) スタートAM7:30(雨天決行)
●ところ／津ヨットハーバー～経ヶ峰山頂～津ヨットハーバー
●参加費／中・高生1000円、一般2000円(保険料、入浴代他)
●内容／コースは37Km。郷土の自然を慈しむ心を持っている人。交通法規を守り、自己管理ができる人。ぜひ参加してください。
●募集人数／30人 ●応募締切／5月7日(土)必着
●申込方法／参加申込書に必要事項を記入し、現金書留または郵便小為替にて申込んでください。Tel.&Fax.では受付ません)
●申込・問い合わせ先／514-0034 津市南丸ノ内8-60 経ヶ峰マウンテンマラソン事務局 花本秀樹
Tel.&Fax.059-226-5371
※但し、大会への問い合わせは往復ハガキにて行ってください。
●主催／経ヶ峰マウンテンマラソン実行委員会
【ボランティア募集】
大会を一緒に作りませんか。選手に喜んでもらうことを第一に、いろいろ知恵を出しあって、継続していける大会にしていきたいと思えます。中学生以上であれば誰でも参加できます。希望者はハガキに「ボランティア希望」と明記し、連絡先を知らせください。

〈名張市ふるさと助成事業〉 いきいき健康づくり講演会(学習と実践)

●とき／5月26日(土)PM2:00～PM4:00
●ところ／名張市アスパホール1階 ●参加費／500円
●内容／自らの健康は自分でつくるを目標に健康運動指導士による話と運動の実践(ストレッチや有酸素運動)をします。健康づくり、笑顔づくり、仲間づくりのお手伝いをします。パソコンを使った栄養相談もあります。
●持ち物／動きやすい服装で来てください。
●申込・問い合わせ先／健康体力づくり推進ネットワーク伊賀
Tel.&Fax.0595-61-0560

第2回 食育子ども料理教室

●とき／5月26日(土)AM10:00～PM1:00

●ところ／四日市市中部地区市民センター

(Tel.0593-54-0336)

●参加費／1000円 ●応募締切／5月24日(木)

●内容／料理を通して子どもの自立を目指します。自分でつくった食べ物は残さず食べられることでしょう。対象は5才以上です。

●申込・問い合わせ先／特定非営利活動法人フードファイター倶楽部 Tel.0593-32-6452 Fax.0593-33-8068

E-mail ffc@passage.ne.jp

地域づくりの道具箱 第②回 会社ゲーム大会

●とき／5月26日(土)AM10:00～PM6:00

●ところ／なや学習センター第3会議室 (四日市市蔵町)

●参加費／5000円(会員4000円)

●内容／会社ゲームとは、感性にもとづいた自分自身の仮説を自分自身で確認できるシミュレーションゲームです。鳥の目線で社会を見渡してみれば、「わたしたち」の問題点と社会の仕組み、そしてその解決方法が一気に見えてきました。なお、PM6:30より実費で交流親睦会を行います。

●募集人数／20人(先着順) ●応募締切／5月20日(日)

●申込方法／下記に連絡のうえ、郵便振替口座(00850-3-122025)へ入金してください。

●申込・問い合わせ先／地域づくり考房みなと

Tel.0593-63-4990 Fax.0593-63-4989

E-mail terakoya@asks.net

第13回車イス体験ふれあいウォークラリー大会

●とき／5月27日(日)(雨天時6月3日) ●参加費／無料

●ところ／お城公園(メイン会場)をスタートに約4キロほどのコース

●内容／手話や点字など、福祉の要素を取り入れたチェックポイントがたくさん。参加チームごとに車イスをお貸しして交代で乗っていただく事で、自分たちの街のバリアフリーを体験してください。また、日頃家にとじこもりがちな障害者の方にも参加していただき、外で一日楽しく遊んでもらいます。

【ボランティア募集】毎年150人を超えるボランティアが参加します。集まりは、毎週金曜日夜にセンパレ3階で開催しています。一度のぞいてみてください。

●応募締切／参加者5月24日(木)、ボランティア5月25日(金)

●申込・問い合わせ先／津市社会福祉協議会(担当:赤塚・十亀)

Tel.059-213-7111 Fax.059-224-6067

精神に疾患・ハンディのある人々の自立のための

ヴァイオリンコンサートby大久保ナオミ

●とき／6月2日(土)ティータイムPM12:30～ 開演PM1:30

●ところ／桑名市コミュニティプラザ(Tel.0594-32-1820)

●協力券／1000円

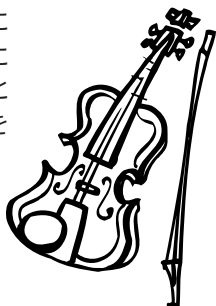
●内容／ドボルザークやモーツァルトの曲を大久保ナオミさんのヴァイオリンで楽しめます。コンサートを主催している「はあぶ工房Together」は精神に疾患・ハンディを持つ人たちと健常者が共にハーブを無農薬・有機栽培し、その製品化と販売活動を通して社会参加と自立への道を目指しているNPOです。

●主催・問い合わせ先／

はあぶ工房Together

Tel.0594-21-9561

●共催／ワークルーム桑友協働作業所



ネットワークのよびかけ

外国人相談コーナー開設!

津駅前のアスト津に4月15日より外国人相談コーナーを開設しました。無料で利用でき、ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語での相談に応じます。お立ち寄りの際は事前にご連絡ください。

●利用時間／正午～PM4:00

●ところ／アスト津3階

●問い合わせ先／(財)三重県国際交流財団

Tel.059-223-5006 E-mail mief@mief.or.jp

IT講師養成講座受講生募集

「聞きたいことが聞ける、聞きたいときに聞ける、そんなITの先生(IT講師)をみなさんの身近に」を実現するために、どういったIT講師が必要かを考えて、IT講師の養成を行います。なお、この講習は、IT技術の修得を目的としたものではなく、講習技術の修得を目的としたものです。また、職業訓練ではありません。ご注意ください。

●開催日／【第7回】5月12日(土)～13日(日) ゆめぼりす

【第8回】5月26日(土)～27日(日) 熊野少年自然の家

【第9回】6月9日(土)～10日(日) 伊勢ピア(生涯学習センター)

この他、津市や四日市市でも開催を予定しております。日程が決まり次第、ホームページにて発表します。

●講習費／1000円

●募集定員／各回とも20人(応募者多数の場合は抽選)

●応募締切／各回とも開催日の10日前

●申し込み方法／ホームページをご覧ください。

●お問い合わせ／デジタル市民協働センターe-mie(いいみえ)

ホームページ <http://www.dcs.gr.jp/e-mie/>

E-mail e-mie@dcs.gr.jp

書籍紹介「協働のデザイン」

市民と自治体がパートナーシップを築くための仕組みや人づくり。協働促進のためのルールづくりや委託と補助、支援センター、公益信託などの協働を進める方策。力量形成に不可欠のNPO評価システムなどの仕組みづくりなど、市民と自治体を繋ぐ協働コーディネーターやこれからの市民社会を担う人づくりに向けた実践の書です。世古一穂著(特定非営利活動法人NPO研修・情報センター代表理事) 学芸出版社発行 2300円(税別)

フリーマーケット情報

【ポルタひさいフリーマーケットの予定】

●とき／5月27日(日)AM10:00～PM3:00(雨天中止)

●ところ／近鉄・久居駅前ビル「ポルタひさい」西・南側歩道上

●問い合わせ先／小森悦司 Tel.090-5113-1114

E-mail crm2000@zvtv.ne.jp ●主催／久居フリーマーケット連絡会

【中勢フリーマーケット協会の予定】

「河芸町杜の街ファン感謝DAY」

●とき／5月12日(土)、13日(日)AM9:30～PM3:00

●参加費／会員1300円 一般1500円

「赤十字『花』&健康」(メッセウイングみえ)

●とき／5月12日(土)AM9:30～PM3:00 ●参加費／会員・一般2000円

「津サイエンスシティー開発記念イベント」

●とき／5月20日(日)(雨天中止) ●参加費／会員1800円 一般2000円

「びっくりフリーマーケット」(鈴鹿中央公園)

●とき／5月26日(土)AM9:30～ ●参加費／会員1000円 一般1300円

「河芸マリーナ 音と光の祭典」 ●とき／6月9日(土)正午～

●参加費／正午～PM4:00 1000円、正午～PM9:00 2500円
●申込方法／出店、会員申込とも、直接次の郵便振替口座に振込を。通信欄に希望ブース数、日付、場所を書いてください。
中勢フリーマーケット協会口座 00870-0-121921
●問い合わせ先／安芸郡河芸町2434-5 中勢マーケット協会
Fax.059-245-2536 Tel.(携帯)090-7027-4334
『平成13年度会員募集』
新規会員は入会金1000円と年会費1500円を振り込んでください。更新会員は年会費のみ。

みなさんへのお知らせ

【NPO担当から】

特定非営利活動法人（NPO法人）申請は2団体ありました。成立した団体は5団体です。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

(1) 名称、(2) 申請年月日、(3) 代表者の氏名、(4) 法人の事務所の所在地、(5) 縦覧期間、(6) 認証の種別、(7) 定款に記載された目的。

【85】

(1) 特定非営利活動法人 桃太郎会日本
(2) 平成13年3月30日
(3) 山中正次
(4) 四日市市久保田2丁目8番1号糸与ビル205号
(5) 平成13年5月30日まで
(6) 設立
(7) この法人は、被災者支援活動、飢えや病気に苦しむ人々の救援活動、青少年育成活動、健康管理サポート活動等を行うことにより、人とのつながりを大切に、感謝の出来る思いやりのある人を増やし、地域社会に貢献することを目的とする。

【86】

(1) 特定非営利活動法人 エス・サプライ
(2) 平成13年4月3日
(3) 島村晃一
(4) 津市高野尾町3006番地の249
(5) 平成13年6月3日まで
(6) 設立
(7) この法人は、すべての人々が生涯教育を通じて自ら生きがいを創造し、健全な精神のもとに健康で快適な生活を営むことができるようスポーツの振興を図り、もって地域社会の生活の質の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。
(平成13年3月21日から平成13年4月15日申請分)

●成立した特定非営利活動法人

(1) 名称、(2) 認証年月日、(3) 代表者の氏名、(4) 法人の事務所の所在地、(5) 定款に記載された目的、(6) 登記年月日

【74】

(1) 特定非営利活動法人三重県生活改善協議会
(2) 平成13年3月22日
(3) 大倉昌也
(4) 鈴鹿市南玉垣町7189番地吉澤ビル4FA号
(5) この法人は、在宅で援助が必要な高齢者・障害者やその家族、その他の助けを必要とする人々に対して、地域住民と助け合いの精神の基に、環境保全、介護に関する事業を行い、地域住民が健やかに暮らせる地域づくりと福祉の増進に寄与することを目的とする。
(6) 平成13年3月29日

【75】

(1) 特定非営利活動法人 伊勢志摩福祉の会ほほえみ
(2) 平成13年3月22日
(3) 寺西真理子
(4) 志摩郡阿児町鵜方3394番地10
(5) この法人は在宅援助が必要な高齢者やその家族などなんらかの手助けを希望する人々に対して、助け合いの精神に基づき福祉サービス活動を行い、もって福祉の向上及び社会全体の利益増進に寄与することを目的とする。
(6) 平成13年3月29日

【76】

(1) 特定非営利活動法人PPK四日市
(2) 平成13年3月26日
(3) 尾松利彦
(4) 四日市市堀木一丁目2番25-910号
(5) この法人は、人生経験豊かな高齢者が、自らの能力を活かして生き生きと活動のできる場を作るための各種社会貢献事業を行い、もってより良い地域社会づくりに寄与することを目的とする。
(6) 平成13年4月2日

【77】

(1) 特定非営利活動法人 NPO三重の里山を考える会
(2) 平成12年5月8日
(3) 正田敬志
(4) 津市半田603番地の1
(5) 本会は、地球環境にしめる里山の意義をみつめ、里山のあり方を考えることを通して、自然環境の保全や環境にやさしい街づくりによる地域の発展に貢献するとともに、里山に関する調査、研究、情報発信、研究交流などを通して、地域社会の人々と子供たちの環境教育に貢献し、また、自然と共生した豊かな人間生活の創造を目指す活動を通して、地域社会の人々の自然の中での交流を拡げ深め、もって、地球環境の保全に寄与することを目的とする。
(6) 平成13年4月2日

【78】

(1) 特定非営利活動法人いせコンビニネット
(2) 平成13年3月26日
(3) 伊東俊一
(4) 伊勢市前山町131番地9
(5) この法人は、双方向のメディアであるインターネットが、今後の地域社会の発展に不可欠なインフラになるという認識に立ち、地域で生活する人々に対して、地域情報化に関する事業を行う事により、人々の交流が盛んなまちづくりを図り、もって、活力ある地域住民の生活向上に寄与することを目的とする。
(6) 平成13年4月5日
(平成13年3月15日から平成13年4月16日登記完了届け出分)

助成金 ニュース

「地域活動支援事業」への参加団体募集

- 受付期間／5月1日(火)～5月25日(金)
- 補助の目的／三重県の生涯学習振興の一環として、地域における社会教育関係団体の事業の充実や、社会教育関係団体を基盤とした地域社会の形成を図るために、社会教育関係団体が行う地域活動に対して、事業にかかる経費の一部を補助します。
- 補助の対象となる団体／(1)社会教育法第10条に規定された団体で、全県のあるいはそれに準ずる広域にわたって社会教育活動を行っていること。(2)定款、寄付行為または規約を有し、団体としての意志決定より事業の執行ができること。かつ、独立した経理及び監査の機能が確立していること。(3)団体の実績が客観的に認められること。(4)活動の本拠となる事務所が三重県内に置かれていること。(5)三重県内に住所もしくは勤務先があるものによって構成された団体であることを原則とします。
- 補助の対象となる活動／生涯学習振興のための社会教育活動にかかわる事業で、おおむね次に掲げるものとし、一つの団体について一つの事業を補助対象とします。但し、全国規模あるいはそれに準ずる規模で行われる事業は除外します。(1)大会または行事の事業、(2)調査研究または資料の作成、配布の事業、(3)その他必要と認められる事業。
- 補助の額／補助対象経費の1/2以内、20万円から150万円の範囲で審査のうえ補助。
- 問い合わせ先／三重県教育委員会事務局スポーツ・生涯学習課社会教育推進グループ Tel.059-224-2980
.....
- (財)ハウジングアンドコミュニティ財団
「知恵のネットワーキング」
—地域づくり活動支援助成2001—
 - 受付締切／5月2日(水)
 - 助成の対象となる団体／地域密着型で地域を元気にし、魅力あるものにして

いく活動に取り組む住民主体のグループ・団体。特定非営利活動法人も含む。
●助成の対象となる活動／活動例…地域づくり・まちづくりのきっかけになるような身近にあるいろいろな魅力や可能性を探し出そうとする取組。農山漁村地域において、固有の産業などをいかしながら、地域やまちを元気にする取り組み。中心市街地に活気をとりもどそうとする取り組み。自分たちの生活を見つめ直し、より暮らしやすい環境の実現を目指す取り組み。自分たちの生活を見つめ直し、より暮らしやすい環境の実現を目指す取り組み。身近な建物・ひろばなどの整備や公共的な施設の整備を媒介としながら人と人とのつながりを育む取り組み。

●助成対象事業の期間／平成13年6月1日～平成14年3月30日
●助成の額／1件あたり100万円を限度とし、10～15件程度を予定。
●応募方法／応募要項および応募用紙はホームページからダウンロードし、A4サイズの用紙にプリントアウトして使用してください。郵送希望の方は4月27日(金)必着で送料分の切手(1部140円)を貼り郵送先を記入した返信用封筒を同封し、下記住所の「知恵のネットワーク」係まで請求。
●問い合わせ先／(財)ハウジングアンドコミュニティ財団
105-0052 東京都港区赤坂1-5-11 新虎ノ門ビル5階
Tel.03-3586-4869 Fax.03-3586-3823
ホームページ <http://www.housingandcommunity.ad.psiweb.com>

(財)安田生命社会事業団研究助成

●受付締切／5月7日(月)必着
●助成の対象となる団体または個人／(1)当財団の講座・講演会の講師や刊行図書の執筆者などの個人・グループならびにその個人が所属する団体。(2)上記1の方からの推薦による個人(含む大学院生)・グループならびに団体。(3)当財団主催の講座や研究会などの参加者、実践情報通信誌「マイディックスぷらざ」の購読者(含む大学院生)。(4)そのほか、当財団が認めた方。なお、過去に他機関から助成を受けたテーマによる応募と同一テーマの継続助成は除外。
●助成の対象となる活動／【心理学的・医学的・社会学的研究】
(1)乳幼児期から学童思春期の問題に関する精神保健・福祉の領域(例:児童青少年精神医学、小児科学、教育学、心理学、社会学など)についての基礎的・臨床的な研究とします。
(2)家族・家庭の問題に関する精神保健・福祉の領域(例:家族精神医学、心理学、人間関係学など)についての基礎的・臨床的な研究とします。
(3)高齢者の問題に関する精神保健・福祉の領域(例:老年精神医学、心理学、社会学など)についての基本的・臨床的な研究とします。

【実践的研究】

・乳幼児期から学童思春期の問題に関する精神保健・福祉の領域。
・家族・家庭の問題に関する精神保健・福祉の領域。
・高齢者の問題に関する精神保健・福祉の領域。
以上の領域における(1)実践活動をたちあげるための調査・研究。(2)現在実施中の実践活動の成果を調査・分析。

●助成対象事業の期間／助成金交付から1年以内。
●助成の額／心理学的・医学的・社会学的研究部門は20件をめぐに1件50万円を限度、実践的研究は10件をめぐに1件30万円を限度とします。
●応募方法／所定の申請書に必要事項を記入し下記まで郵送。申請書は下記問い合わせ先にご連絡ください。(最寄りの安田生命本部・支社にもあります)
●問い合わせ先／(財)安田生命社会事業団研究助成担当係
170-0013 東京都豊島区東池袋1-34-5
Tel.03-3986-7021 Fax.03-3590-7705

国際交流基金アジアセンター

平成13年度次世代リーダーフェロシップ募集

一大学院生、NGO・NPO・地方自治体国際交流協会スタッフ
によるアジアでの調査研究をサポート

●受付締切／5月11日(金)消印有効
●応募資格／以下の全てに該当する方
(1)アジアを地域的な対象として取り上げる、人文・社会科学系の大学院生。もしくは、国際交流・国際協力の分野でアジア地域との共同作業を進める日本国内の非営利団体の専従スタッフとして4年以上勤務経験のある方。
(2)申請時の年齢が40歳以下の方。
(3)対象国での調査・研究を行う上で必要な語学力を有する方。
(4)日本国籍を有する方、もしくは日本国に永住を許可されている方。
●対象国／東アジア・東南アジア・南アジアの各国 ●募集人数／7～8名
●期間／3ヶ月～1年(ただし平成13年9月～平成14年3月に出発できる方)
●待遇／往復渡航費、月額奨学金、他諸手当を支給

●調査・研究の内容／人文・社会科学分野における関心事項をテーマとする調査・研究。将来的にもアジア地域との共同研究や共同作業が企画・実施される可能性が高いテーマでの調査・研究を優先します。非営利団体職員による大学での研究や、大学院生のNPO調査も対象となります。

●応募方法／募集要項・応募書類をご希望の方は、国際交流基金ホームページからダウンロードされるか、90円切手を貼付した返信用封筒(長3形)に住所・氏名を明記して下記まで。

●問い合わせ先／国際文化交流推進協会 次世代フェロ係
107-0052 東京都港区赤坂1-11-28 赤坂一丁目森ビル4F
Tel.03-5562-4422 ホームページ http://www.jpff.go.jp/j/about_j/program_j/fellow.html

キリン福祉財団ボランティア国際年記念公募

●受付締切／5月31日(木)消印有効
●助成の対象となる団体／福祉を目的とする民間団体。法人格の有無不問。
●助成の対象となる活動／「地域における子育て支援ボランティア活動(子どもの対象年齢:中学生以下)」…少子、高齢化社会にあって、次代を担う子どもの健全な育成は社会的課題になっています。他方、核家族化、母親の就労、都市化などの進展によって、子どもをとりまく育成環境は変化してきており、子育てについて地域社会で支援することが強く要請されています。このため、先駆的、奨励的な活動について助成し、助長します。
例:母親(父親)たちによる子育てボランティア活動。子育てボランティア地域支援ネットワーク活動。放課後の児童育成ボランティア活動。子どもの遊びの場(機会)づくりボランティア活動(おもちゃ、読書、子ども文庫、語り部など遊びを通しての活動)。地域でのまち体験、まち遊び、まちづくりボランティア活動。高齢者・障害者とのふれあいを通じての子育てボランティア活動。
●助成の額／総額2000万円。1件あたり上限は100万円。
●応募方法／申込用紙に記入し、添付書類と共に郵送。用紙は下記に請求するか、ホームページから入手してください。
●申込・問い合わせ先／(財)キリン福祉財団事務局
04-8288 東京都中央区新川2-10-1
Tel.03-5540-3522 Fax.03-5540-3525
ホームページ <http://www.kirin.co.jp/foundation>

(財)大同生命厚生事業団の助成

●受付締切／両助成とも6月1日(金)必着
【サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成】
●助成の対象となる団体または個人／社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするサラリーマン(ウーマン)の個人もしくはそのグループ。ただし、過去5年以内に本助成を受けた人(グループ)は除く。
●助成の対象となる活動／1・高齢者福祉に関するボランティア活動、2・障害者福祉に関するボランティア活動、3・子ども(高校生まで)の健全な心を養うための交流ボランティア活動で、内容が先駆性、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの。
例:(1)子どもと高齢者との交流、(2)子どもと外国人との交流、(3)健常の子どもと障害を持つ子どもとの交流、(4)子どもと働く人々(職人、農家、芸術家など)との交流、(5)不登校児、とじこもりの子どもとの交流など。
いずれも目的、計画等が明確な日本国内での無償の活動とします。
●助成の額／総額600万円以内。1件30万円(最高)20件以内。
【地域保健福祉研究助成】
●助成の対象となる団体または個人／保健所、衛生研究所など衛生関係機関に所属する職員。都道府県市町村の衛生および福祉関係職員。保健・医療・福祉の実務従事者。
●助成の額／総額3750万円以内。1件50万円(最高)75件以内。

●応募方法／両助成ともFaxまたは電話などで下記まで所定の申込書を請求するか、ホームページからダウンロードし、B4サイズの用紙にプリントして使用してください。なお、研究助成は応募区分を明確にしてください。また、同時に両助成への応募はできません。

●問い合わせ先／(財)大同生命厚生事業団事務局
564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-5 大同生命江坂第2ビル内
Tel.06-6330-8452(代) Fax.06-6330-8652
ホームページ <http://www.daido-life-welfare.or.jp>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。 <http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。自閉症の方々のための施設「れんげの里」設立のために活動を続けていた西村さんをバックアップしていたのが今回登場する吉田さん。ご自身は自然環境の保護に力を入れています。

住民と「れんげの里」の仲を取り持つ

……紹介者の西村さんとはどうやって知り合われたのですか？

以前、あすなろ学園で1時間半程の講演を行ったことがあるんです。その時に西村さんご夫妻がみえまして、私の話を喜んで聞いていたのがきっかけです。その後、私が運営をしている「語らいの里 嘶野(はなしの)」という施設に皆さんが子どもさんを連れて泊まりにられました。この時は私も招待されて、一緒に食事をしました。

……れんげの里と町の人々との間を取り持つ役割を吉田さんが果たされたように思いますが？

れんげの里の開設にあたって、自閉症に対する誤解があり、とまどう人もいました。私はその誤解を解く努力をただけです。私はこの春まで県の教育委員をしていたものですから、いろんな所を視察したりして、自閉症について、私なりに理解していましたから。

……れんげの里オープン後、ハプニングなどはありませんか？

先日も西村さんと話をしたのですが、非常に順調に進んでいるですよ。あの施設のいい所は、ひとり部屋だということですね。これまでの例ではふたり部屋が多いのですが、ひとりでくつろげる部屋があるのは良いと思います。あと嬉しいのは、今の場所に建てられて良かったとおっしゃられていることですね。ここまで来るには、大変な思いをされたと思いますが、今の場所は県道にも近く、町の人との交流もスムーズにできますから。

……福祉分野の活動はこれまでもされていたのですか？

いえ、西村さんたちと出会ってからですね。どちらかといえば妻の方が福祉ボランティアには熱心で、施設でお手伝いもしています。

幼い日に親しんだ自然を取り戻す

……では吉田さんが主に行っている活動について教えてください。

本業は林業で1000ha余りの山林を所有しています。またその本業とは別に、先にも言いましたが「語らいの里 嘶野」という宿泊施設も運営しています。都市住民に憩いの場、地元民の語らいの場、

お互いの交流の場にできれば、そして自然体験学習の拠点になればと考え、平成4年からスタートしました。造る際のコンセプトとして考えたのは、現状の自然景観を極力損なうことなく、できれば私が子どもだった頃、40、50年前の自然の姿を取り戻す努力をしようということでした。元々ここは段々畑だったので、そこに菜の花を植えたり、土手にはレンゲを残したりしています。水辺には

ショウブ、秋にはコスモスと…在来の草花を植えるほか、石垣ではスズムシの増殖も行っています。カブトムシやクワガタが採れるように、近くにクヌギやコナラを植えた2反ほどの山を造りクワガタ山と命名しました。3年前から実際に採れるようになり、夏休みに都会から来た家族連れの子どもたちを朝早くから子どもを連れて行き、木の幹をポンと蹴ると、パタパタと虫が落ちてきます。カミキリやカナブン、コガネムシが多いのですが、なかにカブトムシやクワガタが混じっています。子どもたちは夢中で拾って、必ず「おじちゃん、これ1匹いくら？」って聞くんです(笑)。「無料だ」って言うのととても感動しますよ。

……昆虫のなかでもホタルには特に力を入れているとか？

私が子どもの時には近くの小川でたくさんゲンジボタルが飛んでいました。それが農業を使い出した頃から激減して、ちょうど私が大学生くらいの時に絶滅したんじゃないかと思われたんです。ところがその後、農業規制が始まって、徐々にまた復活し、町内で自然に飛ぶのが見受けられるようになりました。そこで、嘶野の中を流れる谷川水を利用して、もう一度かつてのようにゲンジボタルを蘇らせようと考え、平成元年から手がけているわけです。まず、嘶野内にゲンジボタルの幼虫の生育に適した100mあまりの人工のせせらぎをつくり、餌になるカワニナを増やしました。そこに孵化したばかりの1齢と呼ばれるホタルの幼虫を4~5万匹ほど入れて、7齢まで育てるんです。7齢というのは7回脱皮したということですね。セミは長年経ってようやく成虫になりますが、ホタルは1年なんです。なかには落第し2年かかるものもありますが、4月中旬頃、雨が降りますと水の中にいる7齢の幼虫が川岸に上がって、土のなかに潜ってサナギになるんです。それから約2カ月経つとそれぐらいに羽化して飛び立つんです。今、嘶野では6月中旬に延べ数千匹のホタルが飛び、1000人を越す人がホタルを見に訪れるようになりました。もちろん、入園は無料で、ホタルが飛んでいる間は何回来てもらってもいいし、園内を自由に回って見ていただくことにしています。それと毎年、6月の第2土曜日に蛍コンサートを開いています。今年は尺八とフォルクローレの共演を予定しています。このコンサートは野外ステージで周囲に篝火を焚き、夕方6時半頃から始めます。コンサートが終わる8時過ぎにはショウブ畑や谷川からホタルが沸き立つように飛ぶという演出を狙っているわけです。ところがこの時期は雨が多くて…。これまでに6回開催しましたが、奇数年はいいんですが、なぜか偶数年は雨が降るんです。去年も最初はくもり空だったんですけど、始めた辺りからシトシト雨が降ってきて、雨の中のコンサートになりました。それでも100人くらいの方が来られました。天気が良いと500人くらいみえますよ。今年は奇数年になりますから、天候は大丈夫じゃないかと思っているんです。

……嘶野では自然保護と、その様子をみんなに見てもらうことがセットになっているんですね。ところで、嘶野の運営費はどうなっているのですか？

自分の道楽だと思っていますから、これには本業のお金はまったく使っていません。私は本業以外に県の教育委員や様々な役職もしています。また講演をしたり、新聞社などから原稿執筆を頼まれることもあるので、これらの報酬などを運営費にあてています。あと、1カ

吉田善三郎

さんに

聞く



月をめぐに酒を飲まない日を15日以上つくる、10日以上は早朝4キロ余りを歩くなど目標を立て、クリアした時に家計から一定額を積み立てています。そうするとやりがいが出るでしょう?コンサートやホタルの生育に必要な費用は年間500万円くらいでしょうか。

現状の自然景観を極力損なうことなく、できれば私が子どもだった頃、40、50年前の自然の姿を取り戻す努力をしよう

……嘶野以外でもそういった活動をされているのですか?

町内に祝詞川(のりとがわ)という川があるんです。昔、天照大神の御魂を奉じて、倭媛命がどこにお納めするのかお座りになって考えたと言われている石がある祝詞山から流れてくる川なんです。小川と呼べる部分が1.2キロくらいあるんです。自分が子どもの時は友達と一緒にカワムツ、アブラバヤやドジョウなどを釣って遊んだものです。ところが今の子どもたちは誰も近寄らなくなった。川が荒れたわけではないんですが、私たちが子どもの時のような状況でもありません。その川を私も参加している宮川清流塾という集まりの有志でもう一度、かつての流れを取り戻そうという活動をしています。去年は実際に川を歩いて、護岸工事が必要な場所などを確認しました。護岸工事もコンクリートの三面張り(※川の両岸と川底の3面をコンクリートで固めてしまうこと)にしてしまうのではなく、自分たちで蛇籠(※竹などで丸く細長く編んだかごの中に石を詰めたもの。古くから川の護岸などに使われている)を使って行おうと考えています。蛇籠にネコヤナギの枝を差しおけば、必ず繁茂して地面を固めてくれます。それぐらいで充分なんです。しかも蛇籠に入れる石は現地で調達しますから、それによって川の流れにも緩急が付きます。川に緩急があったり、深い所や浅瀬があったりすれば生態系も豊かになります。昔は川に淵や瀬がありましたから、そんな風に戻し、子どもたちが釣りに行って楽しめる小川になればいいと思っています。

エネルギーの源は「遊びごころ」

……それだけの仕事と本業を両立させるのは難しいのでは?

今、私は58才ですが、60才になったら完全に本業からは退くつもりです。これからの林業は木材生産だけでは成り立ちません。まったく新しい切り口から見直して、取り組んでいかなければならないと思います。そうすると私では、新しい発想をするにはもう無理があります。丁度、2年後には今年東京の大学を卒業し、今地元の学校の研究室に行っており長男が帰ってきますので、あとは全て息子に任せて、私は口出しはしません。今は過去の経験がものをいう時代じゃないですから、年寄りがいると息子がやりにくいだけです。私は55才になった時から意識的に現場に出るのは止めて、3人の幹部職員に全ての仕事を教えてきました。あとは長男と彼らに任せるつもりです。

……忙しいなか、市民活動を続けてきたエネルギーの源泉は?

遊びごころですね。「しなくちゃいけない」と言われたら、面白くなってしまうんです。だから、やりたいと思うことだけやる。ホタルなんて一度飛ばしてみると、続けて飛ばしたくなるものですよ(笑)。ボランティアもそうですし、こういうことは自分が楽しむというか、充実感を持たないとダメでしょう。無理矢理やらされるといって長続きしないと思います。自分でやってみて面白くないことはほとんどやめてしまいますしね。

……面白くなくてやめたなんてこともあるんですか?



「語らいの里 嘶野」です。



去年の蛍コンサートの様子です。

面白くなくてというのではなく、ひとつの使命を終えたからということはありません。今から13年ぐらい前に大宮町の活性化について考える委員会があり、その会長をしていたんです。2年間ほど、いろいろと議論したのですが、議論だけでなく何かやってみたいと思いました。その時ちょうど、新聞で北海道富良野で森のフェスティバルがあると知って、行ってみたくて。ニングルの森という国有林の一部を切り開いてつくったステージで林英哲が太鼓を演奏し、倉本聰作詞、宇崎竜童作曲の「森よ還れ=カムバック・フォレスト」という歌をみんなで合唱しました。これに非常に感動したんです。大宮町には滝原宮もありますし、まさに森の町です。そこで「森まつり」をやろうと町内の有志によびかけました。一番最初は森ミドリさんというピアニストに来てもらって、2回目はチェリッシュ、3回目はビリーバンバン。ここまでは私が主になって、滝原地区で開催しました。しかし、滝原だけで開催しては町全体に広がらないと思ったんです。大宮町は阿曾、滝原、七保の3地域が合併した町ですから、次の年からは開催地を廻すことにしました。それぞれの地区を一巡し、11回くらい祭りは続けました。その時に「これからどうしよう?」とみんなで考えたんです。続けたいという意見もあったし、同じことを続けても進歩がないという話もありました。私自身、嘶野をつくり、そこでいろんなコンサートをやるようになっていました。森まつりを始めた時は大宮町のような地方に歌手やアーティストが来るということはありませんでした。しかし、今では老人福祉や様々な理由から、様々な方が来てくれるようになったので、芸能人が来てもらって嬉しくなっていました。そこに多大なエネルギーを割いて、まつりをするのもどうか。また、森まつりがきっかけになって、これまで特にまつりのなかった阿曾と七保でも阿曾夏祭り、七保秋祭りが始まることになりました。そういった活動が生まれてきたならば、同じ事を続けるのではなく、そのエネルギーを別の新しいことに振り替えていこうと考えたんです。

……吉田さんの存在はいろいろな場所に苗を植え、育った後は任せて、自分はまた新しい苗を植えに行く…そんな感じですね。

補助金などをもらわず、自分のできる範囲で活動するから、自分の好きなことができる強みはあります。

……逆に援助を求められることもあるでしょう?

ありますね。ただ、自分のポリシーに合わないものは断ります。環境問題など自分のポリシーに合うもの、またその活動をする事でみんなが喜ぶようなものには応えようと思っています。

語らいの里 嘶野

住所/度会郡大宮町滝原大咄口

Tel.05988-6-3061 Fax.05988-6-2052

吉田善三郎さんはこの人を紹介します。

西 要司(にしようじ)さん

吉田さんとは宮川清流塾で知り合われたという西さん。宮川の自然環境を取り戻すよう尽力されています。

編集後記

新しいビル、アスト津に引っ越しました!ピカピカのビルに負けないよう、気持ちも新たに頑張りたいと思います。内容をより充実したものにするためにも、みなさんのご意見、ご感想、そして、イベントなどの情報をお待ちしています。もちろん、新しいセンターにも来てくださいね。

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。